

平成14年1月
農林水産省

女性の経営参画の観点からの法人化の推進に関する実態調査の概況

〔本資料は平成13年10月19日にプレスリリースした「女性の経営参画促進に関する法人実態調査結果」の要約である〕

(1) 調査の趣旨及び実施方法

法人化の推進は、今後の我が国農業経営の体質の強化を進める観点から重要な政策課題と考えられるが、同時にその経営の重要な構成員である女性農業者の経営における位置付けを明確にし、その役割を正しく評価する上で重要な視点の1つである。

このため、女性の地位向上にとっての法人化の意義を明らかにすることにより、女性の経営参画の効率的かつ効果的な推進に資するため本調査を実施した。(平成13年10月公表)

[調査方法]

(社)日本農業法人協会(以下「協会」)の協力により、協会会員の農業法人(約1,400)の女性役員を対象として実施した。(平成13年7月実施)

本調査は、農林水産省経営局で実施し、データの集計・分析に当たっては、(社)農村生活総合研究センターの協力を得てまとめた。
(実質回答104名)

(2) 調査結果のポイント

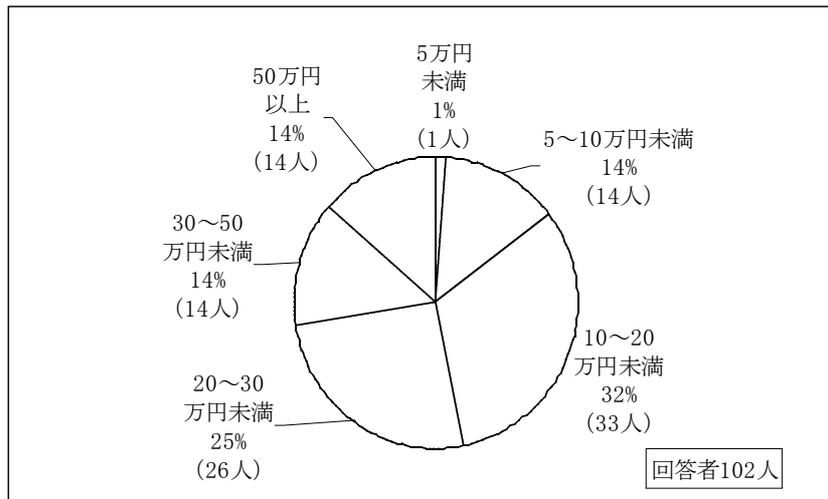
1) 報酬の状況

女性役員の1ヶ月当たりの平均報酬は、「10～20万円未満」が32%、「20～30万円未満」25%。

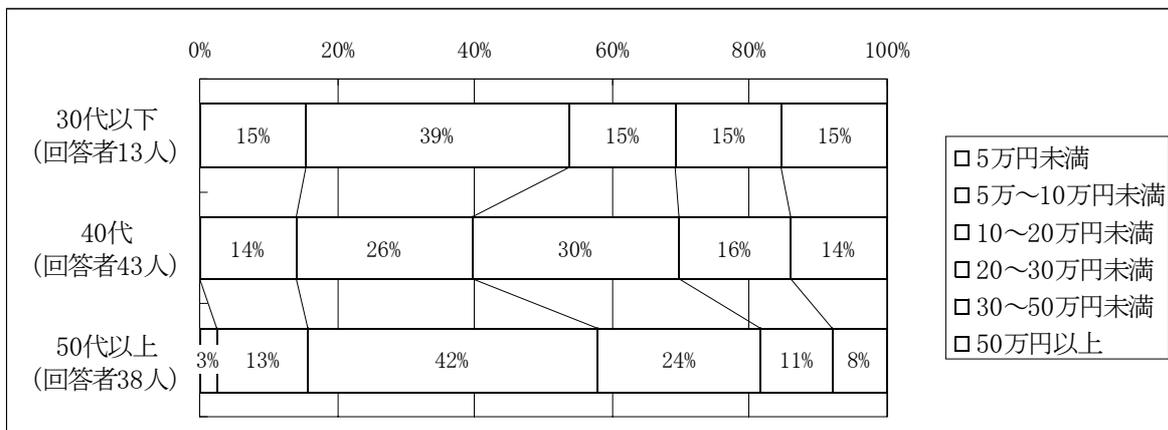
女性役員が法人で働いて得た報酬（1ヶ月当たりの平均報酬）について聞いたところ、「10～20万円未満」32%、「20～30万円未満」25%、「30～50万円未満」14%、「50万円以上」14%、「5～10万円未満」14%であった。

なお、年齢別に見たところ、50代以上に5万円未満とするものがあつたものの、30代以下及び40代は月額5万円以上の報酬を得ており、30万円以上得ているものが両年代とも30%見られた。

報酬月額



報酬月額（年齢階層別）

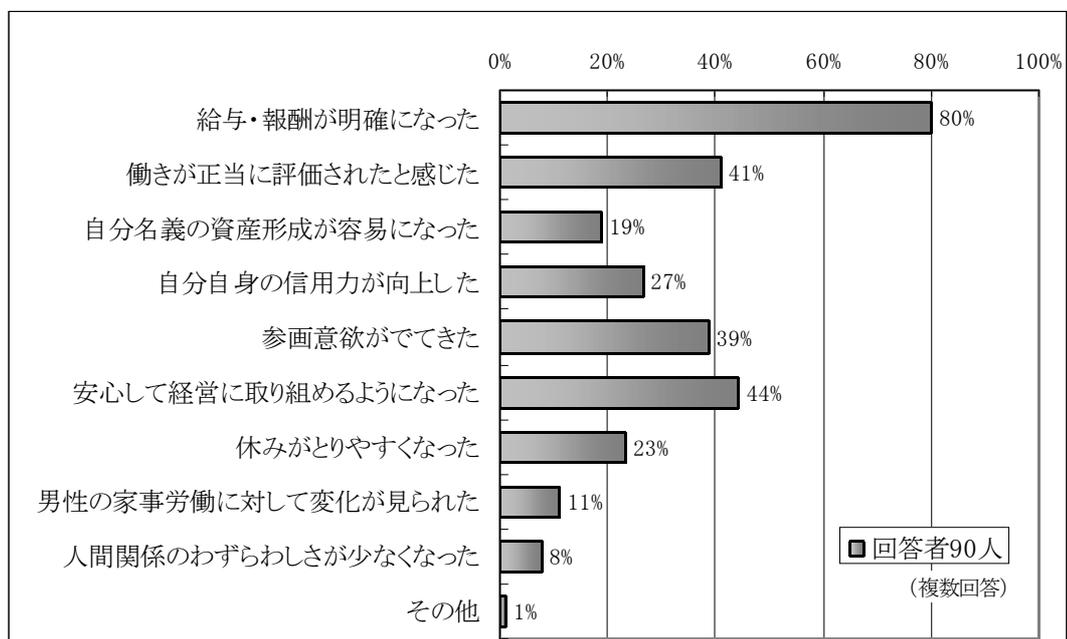


2) 女性の経営参画に関する法人化のメリット

法人化によるメリットは、「給与・報酬が明確になった」80%、「社会保険の加入により、安心して経営に取り組めるようになった」44%（複数回答）

法人化したことで、どのようなメリットがあったと感じたか聞いたところ、「給与・報酬が明確になった」80%、「社会保険の加入により、安心して経営に取り組めるようになった」44%、「自分(女性)の働きが正当に評価されたと感じた」41%、「自分(女性)の役割(例えば、「理事」や「…部門の責任者」等)が明確になり、参画意欲(やる気)がでてきた」39%、「自分(女性)自身の信用力が向上した」27%、「就業規則があることで、休みがとりやすくなった」23%、「自分(女性)名義の資産形成が容易になった」19%であった（複数回答）

法人化によるメリット



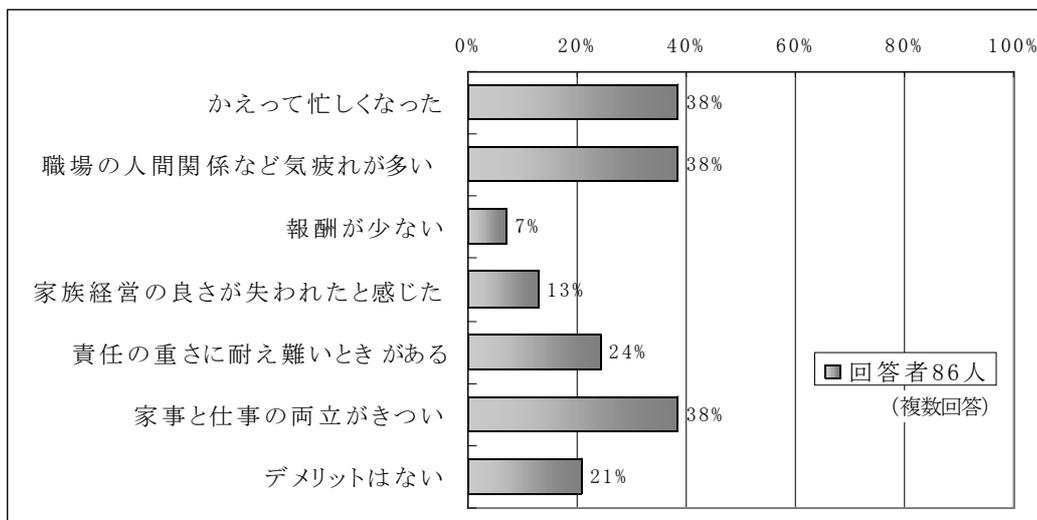
3) 女性の経営参画に関する法人化のデメリット

法人化によるデメリットは、「かえて忙しくなった」「職場の人間関係など気疲れが多い」「家事と仕事の両立がきつい」38%（複数回答）。

法人化したことで、どのようなデメリットがあったと感じたか聞いたところ、「かえて忙しくなった」38%、「職場の人間関係など気疲れが多い」38%、「家事と仕事の両立がきつい」38%、「責任の重さに耐え難いときがある」24%であった（複数回答）。

また、「デメリットはない」21%、「家族経営の良さが失われたと感じた」13%であった。

法人化によるデメリット



4) 法人化による女性参画の波及効果について

女性が法人の理事になったことで、地域社会に対する波及効果を聞いたところ、「地域の研修会・勉強会等に参加する女性が増えた」39%、「地域の女性から経営参画について助言・相談を求められる機会が増えた」35%（複数回答）。

女性が法人の理事になったことで、地域社会に対してどのような影響があったと考えているか聞いたところ（全体の半数が回答）、「地域の研修会・勉強会等に参加する女性が増えた」39%、「地域の女性から経営参画について助言・相談を求められる機会が増えた」35%、「地域社会における女性の位置付け（発言力・信用力）が高まった」29%、「地域に女性が働きやすい環境を整えていこうとする気運が出始めた」16%、「家事・育児・介護の労働に対する地域の取り組みが強化された」14%であった（複数回答）。

法人化による女性参画の波及効果

